

【取組の基本方針】

関西の魅力を戦略的に発信するため、国際観光においては多様化するインバウンド市場に対応しながら、関西ブランドの構築や観光誘客の増大等を図るとともに、文化振興にあたっては、関西をこれまで以上に我が国の文化・芸術の中心とすべく「文化首都・関西」の実現を目指し、関西の文化・芸術の継承・発展・創造に取り組む。

＜「関西観光・文化振興計画」の見直し＞

平成24年3月に、関西から日本の元気を取り戻し、観光から日本の元気を取り戻すという高い目標を掲げて「関西観光・文化振興計画」を策定し、関西が一体となって戦略的に取り組む方向性を示している。計画策定からこの間の社会経済情勢の変化や平成25年度に策定された「文化振興指針」等を踏まえ、今年度、計画の見直しを行うこととし、検討委員会を設置。（第1回会議：8月11日開催）

【観光振興の取組】

（1）KANSAI 国際観光YEAR

国際観光圏「KANSAI」のブランドを世界に発信するため、関西の強みをトータルに1つのブランドとして売り込む。2013年は「関西の食文化」を、2014年は「関西のマンガ・アニメ等」をテーマに官民が一体となり強力にPR。

（取組状況）

- ・「'13食博覧会・大阪」で「関西食文化プラザ」を出展（25年5月）
- ・関西国際空港旅博2014と連携し、外国人観光客に関西のマンガ・アニメ等を活用した関西の魅力をPR（26年5月）
- ・関西圏最大規模のマンガ・アニメ総合見本市である「京都国際マンガ・アニメフェア」と連携し、インバウンド観光に係るシンポジウムを開催（26年9月）

（2）海外観光プロモーション

「関西」をさらに魅力ある観光圏としてアピールするため、関係団体との連携のもと広域連合長等によるトップセールスを実施。関西の多様な魅力を紹介し、KANSAIブランドを発信している。

（取組状況）

- ・中国、韓国等東アジアを重点的に取り組むとともに、訪日観光客が大幅に増えている東南アジアにもトッププロモーションを実施。
 - 23年7月 中国（北京市・上海市）
 - 23年9月 韓国（ソウル市）
 - 24年8月 中国（北京市・杭州市、上海市）
 - 25年2月 シンガポール・マレーシア
 - 25年9月 中国（香港・広州市）
 - 26年11月 タイ・マレーシア（予定）
- ・関西の「食」、「マンガ・アニメ」をPR（香港、マレーシアなど）

(3) 広域観光ルートの提案

関西の強みである歴史・文化、四季折々の自然、健康、産業、クールジャパンなどテーマやストーリーによって組み合わせた広域観光ルートを提案。今後は、世界遺産や世界遺産暫定登録一覧表に登録されたもの、登録を目指すもの等を結びつけた世界遺産巡りを設定・PRし、世界遺産登録への気運を盛り上げていくとともに、こうしたルートを3泊4日で巡る周遊コースなども検討。

① 初めてのKANSAIを満喫	清水寺、比叡山延暦寺、仁徳天皇陵古墳 など
② 日本人の心の聖地を辿る	熊野古道、伊勢神宮 など
③ 伝説の瀬戸内海と秘境景観を辿る	明石海峡大橋、阿波踊り など
④ KANSAIの遺産を辿る	奈良・東大寺 二条城、京料理、姫路城 など
⑤ KANSAIで癒しと健康	白浜温泉、灘の酒蔵、糖尿病医療(徳島大学) など
⑥ COOL KANSAI体感	手塚治虫記念館、水木しげるロードなど
⑦ エンターテインメントKANSAI	琵琶湖クルーズ、神戸ナイトクルーズ、USJ など
⑧ KANSAIの自然を辿る1	那智の滝、天橋立、針江生水の郷 など
⑨ KANSAIの自然を辿る2	山陰海岸ジオパーク、うずしお など

(4) 山陰海岸ジオパーク活動の推進

山陰海岸ジオパークをはじめとする関西の優れた地質景観スポットを「地質の道」としてPR。

<平成25年度>

- ・ 媒体名:地球の歩き方「Good Luck Trip 関西」(2013年12月発行号)
- ・ タイトル:様々な景色に出会えるKANSAI GEOLOGY ROUTE
- ・ 掲載スポット:山陰海岸ジオパーク[立岩(京都)、玄武洞(兵庫)、鳥取砂丘(鳥取)]、琵琶湖(滋賀)、明治の森箕面特定公園(大阪)、那智の滝(和歌山)、鳴門の渦潮(徳島)

【文化振興の取組】

(1) 関西文化の魅力発信(関西元気文化圏の取組)

「関西文化の日」事業

毎年11月に関西2府8地域の美術館・博物館等の文化施設の入場料を無料化し、広く文化に親しむ機会を提供することで、関西の魅力ある文化をPRする。

○平成25年度(11月16日(土)、17日(日))を中心に11月の実施)

・参加施設数(514施設)、総入館者数(延べ約46万5千人) ※過去最多

○平成26年度(11月15日(土)、16日(日))を中心に11月に実施予定)

関西の芸術文化情報発信事業

関西2府8地域の美術や博物学、考古学、音楽、演劇など様々なジャンルの芸術文化情報を一元的に提供

○平成26年4月24日から、関西の芸術文化情報サイト「関西文化.com」が本格稼働するとともに、スマートフォン対応も実施

○多彩な検索機能(「地域別」「ジャンル別」「日付別」「価格別」等)

- 11月を「関西文化月間」として、「関西文化の日」の取組や「関西文化.com」などと連動し、様々な芸術文化情報の収集・発信を行い、関西文化に親しむ機会のさらなる充実を図る。

(2) 関西「文化の道」事業

- 関西の人形浄瑠璃PRパンフレット作成
(印刷部数 20万部:日本語8万部、外国語12万部(英語・中国語(簡・繁)・韓国語))
- 人形浄瑠璃 施設・公演情報掲載リーフレット作成(印刷部数 4万部)
- 「全国人形芝居サミット&フェスティバル」開催(平成25年12月 於:南あわじ市)
- 「文化の道」ポータルサイト構築
 - ・地域文化の結晶である伝統ある祭りを「祭りの道」としてまとめ、関西各府県の「祭り」情報を広域で一元的にデータベース化(英語対応)
 - ・多彩な検索機能(「火の祭り」「水の祭り」「山鉦・山車」「流鏝馬」等)
- 関西の人形浄瑠璃セミナー・体感ツアーの造成、映像記録の作成・活用(今後の予定)
 - 引き続き「人形浄瑠璃」や「祭り」をテーマにモニターツアー等を実施
 - 人形浄瑠璃をテーマとした地域活性化の研究・発表、シンポジウムを開催

(3) 関西文化の振興のためのプラットフォームづくり事業

「はなやか関西・文化戦略会議」の設置・検討

- 有識者等による「はなやか関西・文化戦略会議」を立ち上げ、様々なテーマ等を検討
- 検討テーマ
 - ・「2020年東京オリンピック・パラリンピックや関西ワールドマスターズゲームズ2021などの開催に向けた関西文化の内外への発信強化」について、先行して検討
- 検討体制
 - ・先行して検討するテーマ「東京オリンピック等の開催に向けた関西文化の内外への発信強化」については、文化振興、報道、国際、経済等の分野の有識者11名で構成
 - ・同会議には、有識者のほか、広域連合構成府県市、関西経済連合会、関西・大阪21世紀協会、関西元気文化圏推進協議会、歴史街道推進協議会、オブザーバー等も参加
- 検討日程等
 - ・7月～ 「はなやか関西・文化戦略会議」設置・検討
(第1回会議:7月29日、第2回会議:8月27日開催)
 - ・10月29日 連合委員会で国等に対する要望(政策提案)内容を協議
 - ・11月～ 国やオリンピック・パラリンピック組織委員会等への要望活動

【その他の取組】

(1) 基盤整備の推進

①効果的な情報発信

関西観光Webや関西文化.comなどを通じ、関西の魅力ある情報を効果的に発信。SNS機能を追加し、迅速でよりきめ細かな情報に対応。

②人材の育成（通訳案内士）

各府県が行っていた通訳案内士（全国）の登録事務を平成24年度から広域連合で一元的に管理。また、25年度から広域連合で通訳案内士の研修を実施し、各自のスキルアップや関西の魅力をあらためて認識いただき、活躍の場を拓げる支援を実施。

③訪日外国人が安心して楽しめるインフラ整備

国内外の観光客が府県を越えて、安心して関西圏内を観光できるよう、「関西全域を対象とする観光案内表示ガイドライン」を平成25年3月に策定し、関西の自治体・民間事業者などが観光案内表示を整備する際の統一的な指針として提示。

平成26年3月に観光庁が「観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン」を策定したのを受け、広域連合のガイドラインを観光庁の内容に合わせて改訂し、周知を図る。

④関西全域を対象とする観光統計調査

関西への効果的な誘客の取組を進めるため、関西圏域を訪れる外国人観光客の消費・行動等の観光動向を把握する。